

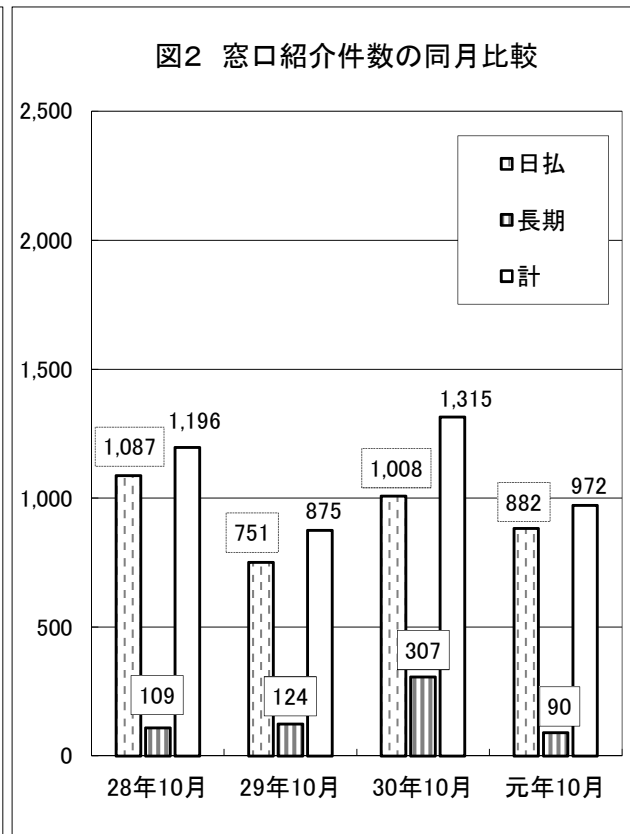
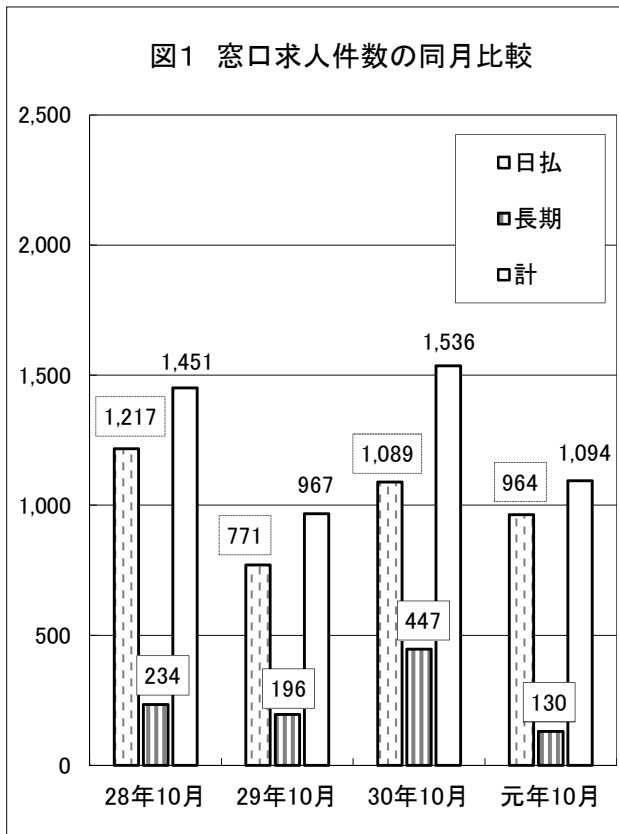
～職業紹介事業の実績(10月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりとなった。令和元年10月の窓口求人件数は1,094件（前年同月1,536件）、442件の減少（△28.8%）であった。

窓口紹介件数は972件（前年同月1,315件）、343件の減少（△26.1%）であった。

窓口紹介件数を雇用期間区別にみると、日払は前年同月比で126件の減少（△12.5%）、長期は217件の減少（△70.7%）であった。



窓口求人	28年10月	29年10月	30年10月	元年10月	前年比	増減率(%)
日払	1,217	771	1,089	964	△125	△11.5
長期	234	196	447	130	△317	△70.9
計	1,451	967	1,536	1,094	△442	△28.8

窓口紹介	28年10月	29年10月	30年10月	元年10月	前年比	増減率(%)
日払	1,087	751	1,008	882	△126	△12.5
長期	109	124	307	90	△217	△70.7
計	1,196	875	1,315	972	△343	△26.1

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数（人数×日数）である。

(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

①民間事業

②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）

③東京都の「高年齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

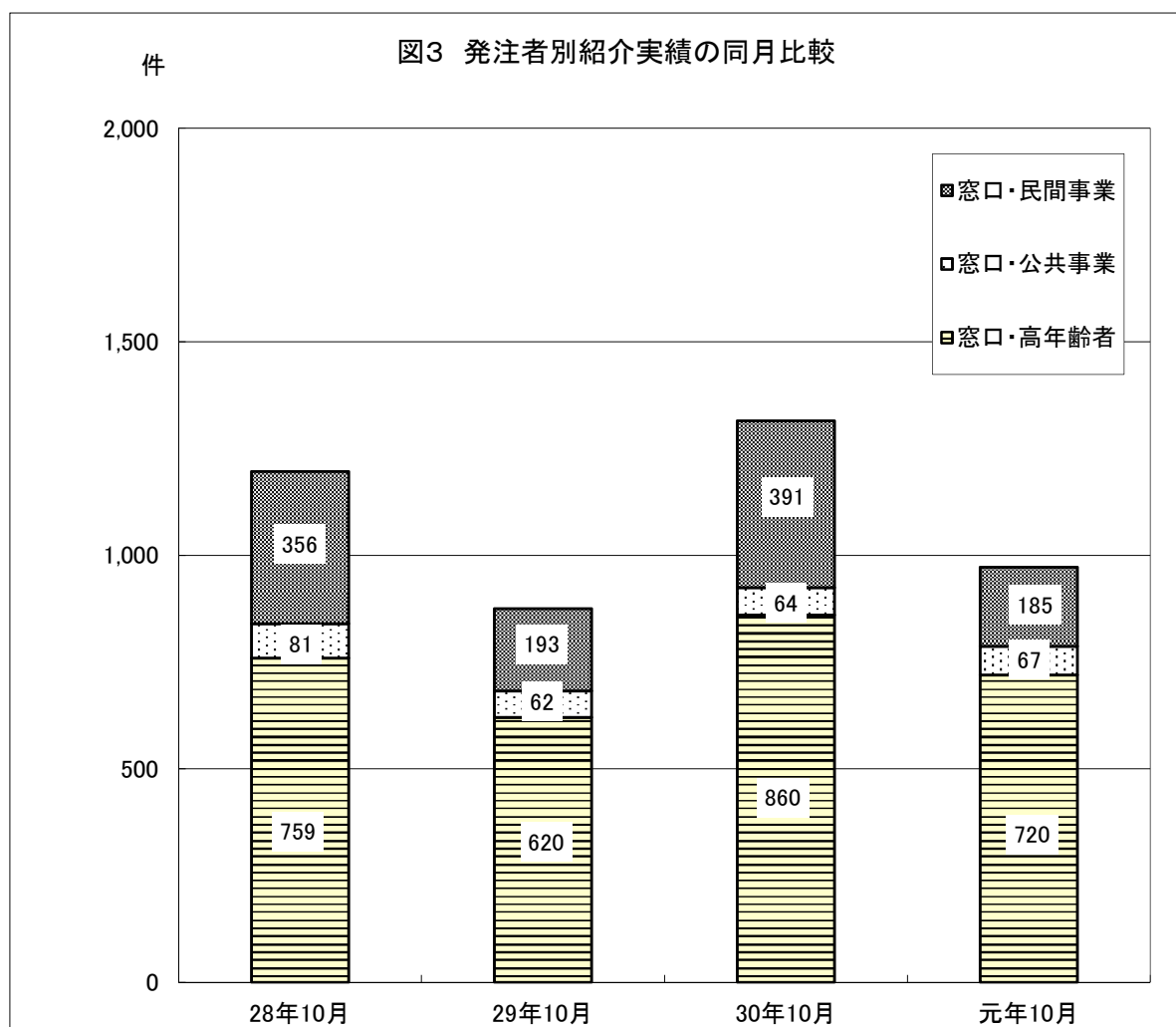
図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

① 「民間事業」は206件の減少（前年同月比△52.7%、日払は11件の増加、長期は217件の減少）

② 「公共事業」は3件の増加（前年同月比4.7%）

③ 「高年齢者特別就労」は140件の減少（前年同月比△16.3%）

窓口計では、343件の減少（前年同月比△26.1%）となった。



	28年10月	29年10月	30年10月	元年10月	前年比	増減率(%)
窓ロ・民間事業	356	193	391	185	△ 206	△ 52.7
窓ロ・公共事業	81	62	64	67	3	4.7
窓ロ・高年齢者	759	620	860	720	△ 140	△ 16.3
窓口計	1,196	875	1,315	972	△ 343	△ 26.1

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり令和元年10月の紹介実員数(=窓口計)は885人であった。(前年同月1,022人)

民間事業では、日払の紹介実員数は125人(前年同月114人)と長期は2人(前年13人)であった。また、窓口紹介実績の一日平均は、6.0人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		30年10月	元年10月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	127	127	0	0.0
	公共事業	35	38	3	8.6
	高齢者特別就労	860	720	△140	△16.3
紹介実員数(合計)		1,022	885	△137	△13.4

～生活相談・応急援護事業の実績(10月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

図5のとおり令和元年10月の相談受付件数(=相談数(計))は165件で、30年10月に比べ35件の減少(△1.2件/1日平均)となり、118か月連続して前年同月比マイナスとなった。

新規来所件数は6件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

	月総数				一日平均		
	30年10月	元年10月	増減数	増減率(%)	30年10月	元年10月	増減数
受付	188	159	△29	△15.4	8.5	7.6	△0.9
新規	9	6	△3	△33.3	0.4	0.3	△0.1
医療相談	4	2	△2	△50.0	0.2	0.1	△0.1
生活保護等	3	1	△2	△66.7	0.1	0.0	△0.1
労働相談	13	5	△8	△61.5	0.6	0.2	△0.4
応急援護	99	77	△22	△22.2	4.5	3.7	△0.8
その他相談	81	80	△1	△1.2	3.7	3.8	0.1
相談数(計)	200	165	△35	△17.5	9.1	7.9	△1.2

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない。

* 開所日数は、令和元年10月は21日間、平成30年10月は22日間であった。

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比7件の減少(△22.6%)、給食相談は17件の減少(△39.5%)、物品相談は3件の増加(14.3%)、交通費相談は1件の減少(△25.0%)となった。

なお、10月の開所日数は、本年度と29年度は21日間、30年度は22日間、28年度は20日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

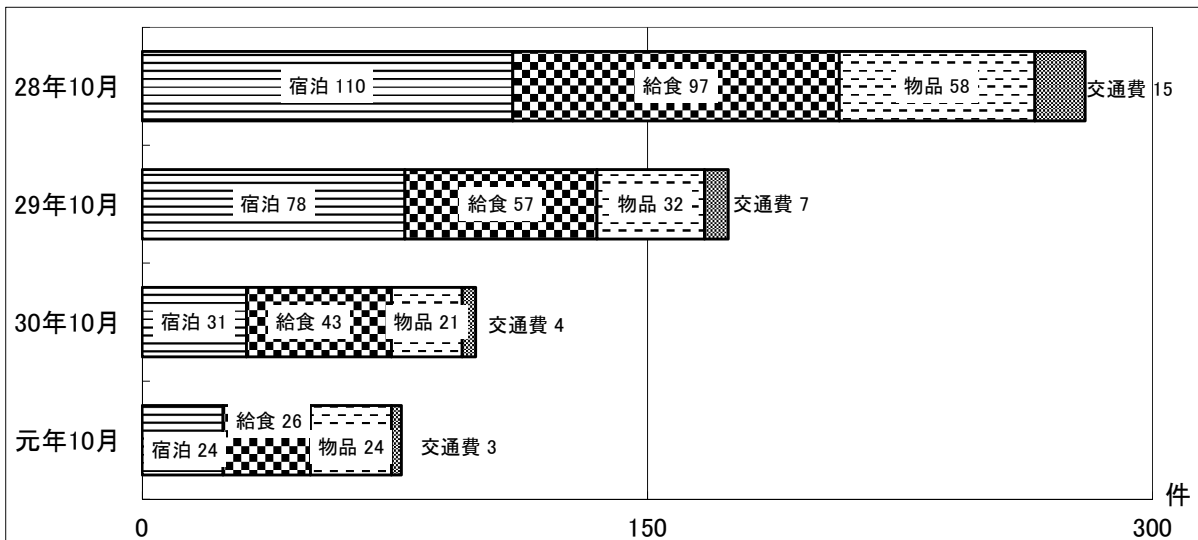


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

